

番号	御質問	回答
1	3月に提出した宇宙探査イノベーションハブのRFIと同様の技術を宇宙輸送用にアレンジして提供しても構わないのでしょうか？	ご質問ありがとうございます。全く問題ございません。ご応募お待ちしております。
2	RFIとRFPの違いは何ですか？	ご質問ありがとうございます。 RFIは、Request For Informationの略で、お持ちになっている技術に関して情報の提供を要請するものです。 一方で、RFPは、Request For Proposalの略です。こちらは当方が示す課題に対して、研究提案を要請するものです。
3	大型構造物は現在、削り出しとの事ですが、具体的な形状、現行材料の情報は入手可能でしょうか？	ご質問ありがとうございます。RFIやRFPの段階では公開情報の範囲でお答え致します。共同研究を締結させて頂いた際は詳細な情報を提供いたします。
4	海外のメーカーは、参加資格はあるのですか？	我が国の輸送は自律性の確保、即ち日本で自在に打上げができることが政策的指針になっております。また、海外との協議で安全保障の観点でのセキュリティを担保できるかも考慮していく必要があります。海外からでも上記確保が担保できるものでしたら、応募可能です。
5	説明資料6ページ目で、3つの活用先（宇宙2つ、地上1つ）が示されていますが、Dual Utilizationを目指すというのは3つの活用を両立できないといけませんか？それとも、宇宙の2つの活用先に展開させて、地上への活用は期待できないようなものでもDual Utilizationに当てはまるのでしょうか？	今回の共創体制では可能な限り地上でも共通的に活用できるDualUtilizationを目指したいと考えております。一方で、宇宙輸送特有など、安くて良くてとがった技術については、クローズドイノベーションの枠も準備しております。 ただ、今回のRFIで募集しているものは、地上とのDualUtilizationを目指したものです。なお、自分では地上展開を見つからなかったけど一緒に考えてくださいといった応募も受け付けております。
6	今までのご説明を聞きますと大丈夫かと思うのですが、少し近未来の技術提案でもよろしいでしょうか？具体的には量子もつれを使ったレイテンシ無しの通信をRFIしようかと思えます。昨年NASAが成功した技術の応用です。	もちろん問題ございません。直近は5年、10年の適用を考えておりますが、革新輸送のロードマップとしては2040年に高頻度往還飛行型宇宙輸送システムというものを考えております。そちらに繋がる技術と捉えております。 なお、そういった少し先の技術については探査イノベーションハブではチャレンジ研究というものがあります。革新輸送の方でもそうしたチャレンジ研究の適用の可能性を考えていきたいと思えます。
7	今年度はアイデア型での募集となるとのことですが、1件当たりの研究予算として500万円を提供頂き、応募側の負担金は無しとの理解でよろしいでしょうか？	ご質問ありがとうございます。 アイデア型は500万円を上限として共同研究費をお支払いしますが、共同研究契約の過程にて双方が等価な貢献となるよう調整させて頂きます。等価性については、費用負担に限らず設備や人工等を含めて考えております。将来的な成果の事業化等の企業利益を生じうる研究開発の体制を築きたいので、各機関のリソースのご提供を期待しております。
8	中テーマの製造技術での大型構造はCFRPを念頭に置いているものですか？金属材料は含まれないでしょうか？	軽量化のためのアルミニウム合金や大型鋳物を安く作るための技術にも注目しております。複合材に拘っているわけではありません。RFIの狙いの部分を見て頂いて、関連する技術がありましたら是非応募頂けると幸いです。
9	RFIを作成するに当たり、公開情報はどこで入手出来ますか？	引き続きのご質問を誠にありがとうございます。まだ準備不足な所がございますので、事務局と個別対応にてご対応させて頂きたく存じます。
10	聞き洩らしたかもしれず、すみません。 「抜本的コストダウン」と「再使用」は独立して考えれば良いでしょうか？ 再使用することでコストダウン・・・ではなく、あくまで機体コストを抜本的に下げることがまずは最優先、という理解で良いでしょうか？ 極論、低コストであれば再使用可否(可の場合の回数等)不明でも提案可能でしょうか？	抜本的コストダウンに向けて再使用と機体の初期価格を抑えることは両輪だと考えております。例えば、大量に再使用することで初期の機体価格が大きくなり100回以上再使用が必要となるケースになってしまうと実際の運用費や開発費が現実的なものではなくなってしまいます。
11	RFI募集テーマに「カーボンニュートラルメタン低コスト化」とありますがたとえばCO2を原材料として低コストでCH4を作ってロケット燃料に使うということでも要求に合うでしょうか？	ご質問ありがとうございます。該当すると考えております。なお、再使用を実現しようとすると液体メタンを使うというのも視野に入れて検討しております。
12	RFIは既に手にしている技術に関する情報の提供ということですが、未踏の技術に対する挑戦的な研究開発提案は、どこで受け付けてくれるのでしょうか。	アイデアレベルの技術についても、本RFIの中で受け付けておりますので、ご応募頂ければ幸いです。
13	現在、HUBアイデア型チャレンジで共同研究をおこなっていますが、次の研究テーマは予算が500万ではできませんが予算規模はどのようになっていますか？	ご質問ありがとうございます。 アイデア型では500万円を上限として研究費を考えております。
14	HPにも記載されておりますが、RFIは5/28以降でも随時受付頂けるのでしょうか？	7月に発出を予定しているRFPの募集課題を設定するにあたっては、5/28以降も絶対受け付けられないということではないですが、限られた人数で対応していることもあり、極力5/28までに回答頂くようお願い致します。 なお、今回の課題設定に間に合わなかった情報提供は、次回以降のRFPにて募集課題を設定する際に参考にさせていただく予定です。
15	P32の共創体制の適用先に入るにはどうすればいいですか？D社はどうやって(ルートで)参画するのでしょうか？	基幹ロケット事業者、J-SPARCと連携頂いている民間輸送事業者を候補に考えております。上記以外で参画を希望される場合は、事務局にご連絡頂けると幸いです。